

SUNSHINE

第48号 2010年 5月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com
 URL http://www.taiyou1991.com/

太陽開発

検索 クリック!!



賃貸マンション紹介します!

シェンワ



1K

2DK



今回ご紹介させていただくマンションは、中央町にあるシェンワというマンションです。間取りは2タイプあります。1つは広々とした洋間10帖と人気のカウンターキッチンが備わった1Kタイプです。もう1つは三面採光の明るく開放感がある2DKタイプです。
 中央駅まで徒歩3分! スーパー・コンビニ・銀行・美容室・薬局・病院も徒歩圏内にあります。
 マンション内は2週間に1度、清掃業者による清掃が入り常にキレイに保たれております。ペット可という条件もあって、現在は満室となっております。
 インターネット無料やマンション内の清掃など、入居者様に、より快適な生活を送っていただきたいというオーナー様の思いが伝わってきます。

今回、研修で人吉へ行ってきました。温泉、歴史、球摩焼酎の町を皆さんへ御紹介します。
 熊本県人吉市は、相良2万2000石の城下町で『九州の小京都』と形容され、藩政時代をしのばせる町並や風情が感じられる町であると紹介されています。
 私は、球摩川沿の『あゆの里ホテル』へ宿泊しました。ホテルの部屋より見る風景は、球摩川を天然の外堀とした『人吉城跡』の石垣が、当時の山城を想像させてくれます。
 当日は、あいにくの雨でしたが『人吉城跡歴史館』『永国寺』『国宝青井阿蘇神社』『願成寺』『相良家の墓地』等を訪ねてきました。永国寺は、幽霊の掛け軸が有ることで通称『幽霊寺』と呼ばれています。
 また、西南の役では西郷隆盛の宿舎として利用されたことも知られています。山門を入ると石畳の先に鐘楼門、本堂と続いていき、本堂の中には西郷隆盛の位牌や幽霊の掛け軸がある。幽霊の掛け軸の写真を撮って帰ったら、家人にたいへん嫌がられました。
 次に向かったのは、2008年国宝に指定された『青井阿蘇神社』です。楼門、拝殿すべて珍しい茅葺の神社です。桃山様式を随所に取り入れた社殿は約400年前の慶長年間に藩主相良長毎(ながつね)が造営したそうです。当日は若い御夫婦が一組赤ちゃんを抱いて、お宮参りに来ていました。その風景が妙に茅葺の拝殿とけこみ、懐かしい感じがしました。
 その他にも何ヶ所か回ってききましたが、町全体を見ると、期待していたより、藩政時代の町並が少なかったように感じました。人吉という町が、西南の役によって、市街地に多大な損害をうけたのが原因ではないかと思われます。(西郷隆盛は、田原坂の敗戦により、人吉まで、後退し再起を図る為に永国寺を宿舎とし、人吉城を西郷軍陣地として球摩川を境に官軍と戦った。結局、1カ月程で西郷は人吉より撤退することになる)
 人吉を初めて訪れて感じたのは、神社史跡等の観光ガイドが非常に充実していて町全体を把握するのにたいへん役だったことです。又、鹿児島市内に住んでいると、ほとんど目にふれることのない西南の役に対する史跡や記述が目につきました。
 今回は、車で人吉へ入りましたが、理想は鹿児島中央駅より隼人、嘉例川を経由して吉松より『いさぶろう号』『しんぺい号』に乗り、日本三大車窓を満喫し、人吉で下車。球摩焼酎を飲み、尺アユを食べ観光、そして人吉よりJR肥薩線で八代まで行き、新八代より新幹線で中央駅まで帰るというのがおすすめルートだと思います。



弊社がお世話になっている「騎射場」周辺のお店のご紹介!!

騎射場探訪

今回は、昨年12月騎射場にオープンした「RADIO」というお店をご紹介します。店内は、アジアをイメージしたとても落ち着いた雰囲気になっております。お店にだしている料理は、豆腐チゲ、チンジャ、キムチ、キムチチャーハンなど色々主に韓国料理が多く、お酒によく合うように作られてました。お店にだしているキムチは、韓国のお友達が作ってくれている本場の味です。また、エビナトースト、魚のカルパッチョなど洋風の料理もごさいます☆~☆ オススメは..ブゴクスープ(お肌がきれいになるスープみたいです) 特に女性のお客様に人気があるらしく、常連の方は必ず召し上がるそうです。今回は注文しなかったのですが、次回は是非いただきたいと思います☆~☆

オーナー様は、20代の女性で笑顔が素敵な『坂元さん』(☆~☆~☆)
 “女性の方が一人でも気軽に立ち寄れるようなお店・隠れ家的なお店になればいいなあ~とおっしゃっていました。
 趣味は海外旅行! 韓国に留学されていた経験もあり..(☆~☆)
 両親に幼い頃、海外旅行に連れて行ってもらったのがきっかけみたいです★
 最近では、一人で~3ヶ月に一度のペースで海外旅行に行かれてるそうです。
 (うらやまし~いですね~ 是非、一度 足をお運び下さい。



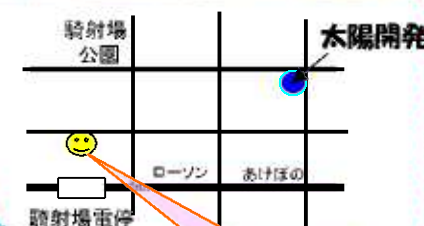
韓国ワッフルのデザート(足を併せて座れます)



三種チース盛合せ タコのカルパッチョ



韓国風チース千手



RADIO
《ラジオ》

〒890-0054
 鹿児島市荒田2丁目75-14-1F
 電話 050-3650-7999
 営業時間18:00~24:00 不定休日

飲物の種類は..おまかせ
 瓶ビール、ワイン、カクテル、ゆず酒、
 焼酎、角ハイボール、ノンアルコールビール、
 ノンアルコールカクテル、コーヒーもあります。

今月の一冊

其の47

忍ぶ川 三浦哲郎



青井阿蘇神社 楼門



青井阿蘇神社 拝殿



永国寺 本堂



幽霊の掛け軸



永国寺 鐘楼門

兄姉は自殺・失踪し、暗い血の流れに戦きながらも、強くたくましく生き抜こうとする大学生の“私”が、小料理屋につとめる哀しい宿命の娘、志乃にめぐり遭い、いたましい過去を労りあって結ばれる純愛の譜『忍ぶ川』。読むたびに心の中を清冽な水が流れるような甘美な流露感をたたえた名作である。他に続編ともいべき『初夜』『帰郷』『園楽』など6編を収める。
 (新潮文庫『忍ぶ川』ブックカバーより引用)

1931(昭和6)年、青森県八戸市生まれ。早稲田大学を中退し、郷里で中学教師になるが、'53年早大に再入学。仏文科卒。'55年、『十五歳の周囲』で新潮同人雑誌賞、'60『忍ぶ川』で芥川賞を受賞。『拳銃と十五の短篇』(野間文芸賞)、『少年賛歌』(日本文学大賞)、『白夜を旅する人々』(大佛次郎賞)、『短篇集モザイク』(川端康成賞)等、受賞作多数。

前回『偽電気ブラン』から『夜は短し歩けよ乙女』を紹介しましたが、そもそも“偽”から先に取り上げるのもおかしな話で、今回は正真正銘の“電気ブラン”の登場する“純文学”『忍ぶ川』をご紹介します。昭和35年芥川賞を得た本作品には、神谷バーと電気ブランが登場します。『忍ぶ川』は青春小説として大きな感動を呼び、映画化もされました。美しい文体と、静かなストーリー展開は久し振りに国語の教科書を読んでいるような感じがした。普段無縁の“純文学”に触れたのも“電気ブラン”のお導きかしら。